

駅館川地区の事業の効用に関する説明資料

1. 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算定式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	46,947,173
当該事業による整備費用	②	29,577,366
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	17,369,807
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	54年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	57,646,813
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.22

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 （事業着工 時点） ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 （評価期間 終了時点） ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
国営造成施設	3,085,835	29,577,366	－	12,285,918	2,704,864	42,244,255
県営造成施設	1,355,173	－	－	503,596	24,219	1,834,550
その他造成施設	－	－	－	3,208,740	340,372	2,868,368
合 計	4,441,008	29,577,366	－	15,998,254	3,069,455	46,947,173

※各造成施設の詳細については「駅館川地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 (便益) 額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果				
作物生産効果		1,081,485	32,266,772	区画整理及び用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		189,749	6,424,342	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果
営農経費節減効果		569,740	12,743,198	区画整理及び用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△60,026	△1,994,685	区画整理及び用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果				
耕作放棄防止効果		166,767	4,171,301	区画整理を実施したことにより、耕作放棄の発生が防止され、農産物の生産が維持される効果
農村の振興に関する効果				
地域用水効果		9,514	322,118	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での地域用水を利用する経費が節減する効果
地籍確定効果		1,631	34,331	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査に要する経費が節減する効果
その他の効果				
国産農産物安定供給効果		129,590	3,679,436	区画整理及び用水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		2,088,450	57,646,813	

※総便益の算定の詳細については「駅館川地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2. 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

駅館川地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

$$\ast 1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$\ast 2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	作付面積 (ha)		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	647	715	1,299,839	393,202
更新整備	633	633	763,612	688,283
合 計			2,063,451	1,081,485

※作物生産効果における作物毎の詳細については「駅館川地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

・作付面積：各作物の作付面積は以下のとおり

「現況作付面積」・国営駅館川土地改良事業変更計画書に記載された現況面積。

「計画作付面積」・国営駅館川土地改良事業変更計画書に記載された計画面積。

・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。

・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり。

「事業なかりせば単収」・新設整備では、国営駅館川土地改良事業変更計画書に記載された現況単収。

・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。

「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。

・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる減収率を減じて算定した。

「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。

(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)

・生産物単価：農業物価統計、関係JA聞き取り及び農業法人聞き取りによる最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。

- ・純益率 : 「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

駅館川地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = (事業ありせば作物単価 - 事業なかりせば作物単価) × 効果発生量

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	効果発生要因		年効果額
	単価向上	商品化率向上	
新設整備	-	-	-
更新整備	189,749	-	189,749
合計	189,749	-	189,749

※品質向上効果における作物毎の詳細については「駅館川地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

- ・効果対象数量：作物生産効果における作付面積、単収から算定された生産量。
- ・生産物単価 : 「現況単価」は、関係JAへの聞き取りによる最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。なお、本事業による農産物の品質の向上は見込めないことから「現況単価」＝「事業ありせば単価」とした。
「事業なかりせば単価」は、「現況単価」に畑地かんがい導入地区の試験データを用いて算定した畑地かんがい品質向上率等を考慮し決定した。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

駅館川地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	事業なかりせば①	事業ありせば②	年効果額 ③＝①－②
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	591,944
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	△22,204
合 計			569,740

※営農経費節減効果における作物毎の営農経費の詳細については「駅館川地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・各作物の ha 当たり 営農経費は以下のとおり
 - ・現況営農経費：国営駅館川土地改良事業変更計画書を基に機械・人力単価を現時点に補正し算定した。
 - ・計画営農経費：国営駅館川土地改良事業変更計画書を基に機械・人力単価を現時点に補正し算定した。
 - ・事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した、当該事業及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設

○年効果額算定式

年効果額 ＝ 事業なかりせば維持管理費 － 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
新設整備		65,743	73,054	△7,311
更新整備		4,911	57,626	△52,715
合 計				△60,026

- ・事業なかりせば維持管理費：国営駅館川土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費

- ・事業ありせば維持管理費 : 用換算係数により補正し算定した。
: 国営駅館川土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正し算定した。
- ・現況維持管理費 : 国営駅館川土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正し算定した。

(5) 耕作放棄防止効果

○効果の考え方

事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量をもって年効果額を算定した。

○対象工種 区画整理

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{事業なかりせば発生が想定される耕作放棄地が有している作物生産の総効果額} \times \text{還元率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	総効果額 ①	割引率	効果算定期間 (年)	還元率 ②	年効果額 ③=①×②
新設整備	3,667,709	0.04	54	0.0455	166,767

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

- ・総効果額：単位面積当たり効果額を基に、各年の事業なかりせば発生する耕作放棄面積を乗じた年別効果額に割引率を適用して算定した割引後の年別効果額を総計して算定した。
- ・還元率：総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数。

(6) 地域用水効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、地域用水を利用する経費の増減により年効果額を算定した。

○対象施設 用水路

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{事業なかりせば想定される地域用水の利用経費} - \text{事業ありせば想定される地域用水の利用経費}$$

○年効果額の算定

1) 防火用水効果

年効果額 = (事業ありせば地域集落等の防火水槽等の設置の計画節減数
又は事業なかりせば地域集落等の防火水槽等の設置の想定増加数
× 1箇所当たりの建設費) × 還元率

(単位：千円)

区 分	事業なかりせば想定増加数 (箇所) ①	1箇所当たり 建設費 ②	還元率 ③	年効果額 ④=①×②×③
更新整備	23	7,156	0.0578	9,514

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

- ・事業なかりせば想定増加数：現在、消防水利施設に位置付けられている土地改良施設を消防施設に代替えた場合の施設数を算定した。
- ・1箇所当たり建設費：近傍地区の防火水槽の建設費を基に算定した。
- ・還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数。

(7) 地籍確定効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、土地を国土調査する場合に要する経費の差をもって年効果額を算定した。

○対象

区画整理うち国土調査未実施区域

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば国土調査費 - 事業ありせば国土調査費) × 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	事業なかりせば 国土調査費 ①	事業ありせば 国土調査費 ②	還元率 ③	年効果額 ④= (①-②) × ③
新設整備	40,008	33	0.0408	1,631

- ・事業なかりせば国土調査費：現況国土調査費（近傍地区における国土調査費）
- ・事業ありせば国土調査費：計画国土調査費（国土調査法第19条第5項の申請に要する費用相当額）
- ・還元率：施設等有している総効果額を耐用年数期間（基本的に100年とする）に換算するための係数。

(8) その他の効果(国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay：支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method：仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額（原単位）} \\ + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額（原単位）}$$

○年効果額の算定

（単位：千円）

区 分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 （千 kcal）②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千 kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤＝①×③＋ ②×④
新設整備	1,299,839	56,209	49	9.9	64,248
更新整備	763,612	2,820,662	49	9.9	65,342
合 計	2,063,451	2,876,871			129,590

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増加粗収益額、増加供給熱量：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした。

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部(監修) [改訂版] 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」 大成出版社 (平成 27 年 9 月 5 日第 2 版第 1 刷)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に関する基本指針の制定について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1596 号農村振興局長通知 (最終改正: 令和 7 年 4 月 2 日))
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1597 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (最終改正: 令和 7 年 4 月 2 日))
- ・「国産農産物安定供給効果」について (平成 27 年 3 月 27 日付け 26 農振第 2072 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (令和 5 年 4 月 3 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について (令和 5 年 9 月 13 日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について (平成 19 年 3 月 28 日付け農林水産省農村振興局企画部長通知 (令和 7 年 4 月 1 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について (令和 7 年 4 月 1 日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐 (事業効果班) 事務連絡)

【費用】

- ・当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、九州農政局駅館川農地整備事業所調べ

【便益】

- ・九州農政局統計部「大分県農林水産統計年報」 (平成 27 年～令和 3 年)
- ・農林水産省大臣官房統計部 (令和 3 年 7 月) 「令和 3 年農業物価統計」 農林水産省
- ・農林水産省大臣官房統計部「作物統計調査 農林水産関係市町村別統計」 農林水産省
- ・効果算定に必要な各種諸元については、九州農政局駅館川農地整備事業所調べ

駅館川地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－1

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による費用 ②	関連事業による費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④－⑤
国 営 造 成 施 設	平山：整地工	－	513,460	－	－	－	513,460
	平山：道路工(路盤・路床)	－	47,950	－	8,290	8,290	47,950
	平山：道路工(路面)	－	37,676	－	51,551	6,513	82,714
	平山：用水路工	－	40,411	－	10,341	4,658	46,094
	平山：排水路工	－	166,001	－	42,481	19,134	189,348
	平山：暗渠排水工	－	13,793	－	4,759	637	17,915
	中山1：整地工	－	639,475	－	－	－	639,475
	中山1：道路工(路盤・路床)	－	59,917	－	9,881	9,883	59,915
	中山1：道路工(路面)	－	47,078	－	61,449	7,764	100,763
	中山1：用水路工	－	163,404	－	39,890	17,972	185,322
	中山1：排水路工	－	264,371	－	64,537	29,077	299,831
	中山1：暗渠排水工	－	7,982	－	2,699	361	10,320
	中山2：整地工	－	520,963	－	－	－	520,963
	中山2：道路工(路盤・路床)	－	62,745	－	10,615	10,616	62,744
	中山2：道路工(路面)	－	49,298	－	66,009	8,340	106,967
	中山2：用水路工	－	60,559	－	15,165	6,831	68,893
	中山2：排水路工	－	130,969	－	32,798	14,773	148,994
	中山2：暗渠排水工	－	13,509	－	4,585	614	17,480
	有徳原1：整地工	－	412,110	－	－	－	412,110
	有徳原1：道路工(路盤・路床)	－	42,111	－	6,160	6,161	42,110
	有徳原1：道路工(路面)	－	33,088	－	38,308	4,840	66,556
	有徳原1：用水路工	－	17,095	－	3,701	1,667	19,129
	有徳原1：排水路工	－	61,660	－	13,351	6,014	68,997
	有徳原1：暗渠排水工	－	36,308	－	10,643	1,425	45,526
	有徳原2：整地工	－	238,072	－	－	－	238,072
	有徳原2：道路工(路盤・路床)	－	14,851	－	2,189	2,189	14,851
	有徳原2：道路工(路面)	－	11,671	－	13,614	1,720	23,565
	有徳原2：用水路工	－	16,378	－	3,573	1,609	18,342
	有徳原2：排水路工	－	38,023	－	8,296	3,736	42,583
	小計	－	3,760,928	－	524,885	174,824	4,110,989

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

1 (2) 総費用の総括－2

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による費用 ②	関連事業による費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④－⑤
国営造成施設	有徳原2：暗渠排水工	-	6,588	-	1,933	259	8,262
	下毛1：整地工	-	446,243	-	-	-	446,243
	下毛1：道路工(路盤・路床)	-	35,081	-	5,844	5,845	35,080
	下毛1：道路工(路面)	-	27,568	-	36,346	4,592	59,322
	下毛1：用水路工	-	42,185	-	10,404	4,687	47,902
	下毛1：排水路工	-	111,071	-	27,391	12,338	126,124
	下毛1：暗渠排水工	-	9,716	-	3,277	439	12,554
	下毛2：整地工	-	197,860	-	-	-	197,860
	下毛2：道路工(路盤・路床)	-	21,692	-	3,547	3,547	21,692
	下毛2：道路工(路面)	-	17,041	-	22,058	2,787	36,312
	下毛2：用水路工	-	24,658	-	5,969	2,688	27,939
	下毛2：排水路工	-	19,591	-	4,742	2,136	22,197
	下毛2：暗渠排水工	-	29,720	-	9,782	1,310	38,192
	釜ノ口1：整地工	-	363,472	-	-	-	363,472
	釜ノ口1：道路工(路盤・路床)	-	62,713	-	10,093	10,095	62,711
	釜ノ口1：道路工(路面)	-	49,275	-	62,765	7,930	104,110
	釜ノ口1：用水路工	-	68,294	-	16,269	7,330	77,233
	釜ノ口1：排水路工	-	65,997	-	15,722	7,083	74,636
	釜ノ口1：暗渠排水工	-	157,819	-	52,748	7,064	203,503
	釜ノ口2：整地工	-	326,202	-	-	-	326,202
	釜ノ口2：道路工(路盤・路床)	-	25,271	-	4,155	4,156	25,270
	釜ノ口2：道路工(路面)	-	19,855	-	25,838	3,265	42,428
	釜ノ口2：用水路工	-	43,132	-	10,497	4,728	48,901
	釜ノ口2：排水路工	-	49,346	-	12,010	5,410	55,946
	釜ノ口2：暗渠排水工	-	7,037	-	2,321	311	9,047
	釜ノ口3：整地工	-	524,252	-	-	-	524,252
	釜ノ口3：道路工(路盤・路床)	-	73,687	-	12,671	12,672	73,686
	釜ノ口3：道路工(路面)	-	57,893	-	78,796	9,956	126,733
	釜ノ口3：用水路工	-	79,528	-	20,245	9,118	90,655
	釜ノ口3：排水路工	-	327,999	-	83,493	37,605	373,887
	小計	-	3,290,786	-	538,916	167,351	3,662,351

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

1 (2) 総費用の総括－3

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による費用 ②	関連事業による費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④－⑤
国営造成施設	釜ノ口3：暗渠排水工	-	23,334	-	8,014	1,073	30,275
	板場1：整地工	-	1,172,294	-	-	-	1,172,294
	板場1：道路工(路盤・路床)	-	58,794	-	8,271	8,272	58,793
	板場1：道路工(路面)	-	46,197	-	51,437	6,499	91,135
	板場1：用水路工	-	71,551	-	14,899	6,711	79,739
	板場1：排水路工	-	162,480	-	33,833	15,241	181,072
	板場1：暗渠排水工	-	110,738	-	31,282	4,189	137,831
	板場2：整地工	-	262,063	-	-	-	262,063
	板場2：道路工(路盤・路床)	-	37,082	-	5,343	5,343	37,082
	板場2：道路工(路面)	-	29,145	-	33,230	4,199	58,176
	板場2：用水路工	-	10,035	-	2,140	964	11,211
	板場2：排水路工	-	104,613	-	22,309	10,049	116,873
	板場2：暗渠排水工	-	62,158	-	17,830	2,388	77,600
	板場3：整地工	-	467,430	-	-	-	467,430
	板場3：道路工(路盤・路床)	-	17,442	-	2,941	2,941	17,442
	板場3：道路工(路面)	-	13,701	-	18,288	2,311	29,678
	板場3：用水路工	-	67,358	-	16,815	7,573	76,600
	板場3：排水路工	-	97,968	-	24,457	11,015	111,410
	板場3：暗渠排水工	-	65,700	-	22,205	2,974	84,931
	板場4：整地工	-	730,459	-	-	-	730,459
	板場4：道路工(路盤・路床)	-	42,297	-	6,684	6,685	42,296
	板場4：道路工(路面)	-	33,234	-	41,573	5,253	69,554
	板場4：用水路工	-	72,218	-	16,895	7,609	81,504
	板場4：排水路工	-	106,512	-	24,917	11,223	120,206
	板場4：暗渠排水工	-	122,226	-	38,494	5,155	155,565
	尾立1：整地工	-	1,207,653	-	-	-	1,207,653
	尾立1：道路工(路盤・路床)	-	11,347	-	1,432	1,433	11,346
	尾立1：道路工(路面)	-	8,908	-	8,901	1,125	16,684
	尾立1：用水路工	-	67,119	-	12,538	5,654	74,003
	尾立1：排水路工	-	128,391	-	23,982	10,814	141,559
	小計	-	5,410,447	-	488,710	146,693	5,752,464

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

1 (2) 総費用の総括－4

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による費用 ②	関連事業による費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④－⑤
国営造成施設	尾立１：暗渠排水工	-	240,578	-	64,624	8,655	296,547
	尾立２：整地工	-	645,336	-	-	-	645,336
	尾立２：道路工(路盤・路床)	-	45,345	-	7,140	7,140	45,345
	尾立２：道路工(路面)	-	35,628	-	44,405	5,610	74,423
	尾立２：用水路工	-	100,265	-	23,371	10,527	113,109
	尾立２：排水路工	-	182,613	-	42,566	19,172	206,007
	尾立２：暗渠排水工	-	174,514	-	55,299	7,406	222,407
	且尾１：整地工	-	441,765	-	-	-	441,765
	且尾１：道路工(路盤・路床)	-	35,013	-	4,512	4,514	35,011
	且尾１：道路工(路面)	-	27,509	-	28,056	3,545	52,020
	且尾１：用水路工	-	64,864	-	12,373	5,576	71,661
	且尾１：排水路工	-	75,890	-	14,476	6,524	83,842
	且尾１：暗渠排水工	-	39,154	-	10,629	1,424	48,359
	塔尾１：整地工	-	559,102	-	-	-	559,102
	塔尾１：道路工(路盤・路床)	-	57,677	-	8,874	8,874	57,677
	塔尾１：道路工(路面)	-	45,319	-	55,182	6,972	93,529
	塔尾１：用水路工	-	102,042	-	23,237	10,466	114,813
	塔尾１：排水路工	-	172,109	-	39,193	17,652	193,650
	塔尾１：暗渠排水工	-	136,706	-	42,265	5,660	173,311
	塔尾２：整地工	-	359,658	-	-	-	359,658
	塔尾２：道路工(路盤・路床)	-	68,169	-	9,059	9,063	68,165
	塔尾２：道路工(路面)	-	53,572	-	56,340	7,118	102,794
	塔尾２：用水路工	-	69,353	-	13,640	6,147	76,846
	塔尾２：排水路工	-	130,615	-	25,691	11,578	144,728
	塔尾２：暗渠排水工	-	27,203	-	7,597	1,017	33,783
	矢津：整地工	-	787,619	-	-	-	787,619
	矢津：道路工(路盤・路床)	-	48,673	-	6,369	6,370	48,672
	矢津：道路工(路面)	-	38,242	-	39,606	5,004	72,844
	矢津：用水路工	-	35,786	-	6,931	3,123	39,594
	矢津：排水路工	-	164,106	-	31,785	14,322	181,569
	小計	-	4,964,425	-	673,220	193,459	5,444,186

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

1 (2) 総費用の総括－5

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による費用 ②	関連事業による費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④－⑤
国 営 造 成 施 設	矢津：暗渠排水工	-	36,891	-	9,858	1,320	45,429
	大見尾：整地工	-	1,369,500	-	-	-	1,369,500
	大見尾：道路工(路盤・路床)	-	134,733	-	20,403	20,404	134,732
	大見尾：道路工(路面)	-	105,857	-	126,883	16,031	216,709
	大見尾：用水路工	-	152,061	-	34,087	15,352	170,796
	大見尾：排水路工	-	159,663	-	35,791	16,120	179,334
	大見尾：暗渠排水工	-	80,304	-	24,183	3,239	101,248
	古川：整地工	-	478,880	-	-	-	478,880
	古川：道路工(路盤・路床)	-	45,930	-	7,017	7,018	45,929
	古川：道路工(路面)	-	36,092	-	43,637	5,513	74,216
	古川：用水路工	-	84,369	-	19,079	8,593	94,855
	古川：排水路工	-	128,478	-	29,053	13,086	144,445
	古川：暗渠排水工	-	216,117	-	66,545	8,912	273,750
	平山幹線水路	148	594,633	-	147,659	55,365	687,075
	有徳原幹線水路	391	631,844	-	166,983	56,883	742,335
	松本1号幹線水路	55	-	-	-	7	48
	板場幹線水路	67	35,976	-	8,331	2,844	41,530
	上ノ原幹線水路	727	211,676	-	56,074	19,176	249,301
	古川幹線水路	580	-	-	-	73	507
	有徳原揚水施設	500	36,612	-	-	-	37,112
	有徳原揚水建屋	14,970	-	-	-	-	14,970
	松本第1揚水施設	151	81,810	-	53,011	12,572	122,400
	松本第1揚水建屋	4,190	-	-	-	7	4,183
	板場揚水施設	188	187,773	-	131,816	22,875	296,902
	板場揚水建屋	6,973	5,386	-	834	745	12,448
	上ノ原揚水施設	2,879	61,251	-	28,292	9,226	83,196
	上ノ原揚水建屋	14,926	61,247	-	-	1,079	75,094
	古川揚水施設	3,370	139,053	-	94,503	18,677	218,249
	古川揚水建屋	19,454	19,479	-	3,010	2,978	38,965
	平山加圧施設	75	62,166	-	43,051	8,326	96,966
	小計	69,644	5,157,781	-	1,150,100	326,421	6,051,104

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

1 (2) 総費用の総括－6

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による費用 ②	関連事業による費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④－⑤
国営造成施設	平山加圧建屋	4,594	-	-	-	2	4,592
	有徳原第1加圧施設	121	151,064	-	96,858	20,771	227,272
	有徳原第1加圧建屋	3,098	-	-	-	5	3,093
	有徳原第2加圧施設	135	56,961	-	37,860	8,130	86,826
	有徳原第2加圧建屋	3,299	-	-	-	5	3,294
	松本第1加圧施設	53	45,316	-	31,325	7,424	69,270
	松本第1加圧建屋	6,465	-	-	-	2	6,463
	板場加圧施設	115	31,700	-	20,260	3,527	48,548
	板場加圧建屋	14,344	31,697	-	4,925	4,356	46,610
	板場第2加圧施設	292	-	-	-	36	256
	板場第2加圧建屋	1,357	-	-	-	10	1,347
	平山FP	21,343	374,424	-	74,647	46,798	423,616
	有徳原第1FP	17,094	189,960	-	35,439	27,264	215,229
	有徳原第2FP	4,776	74,622	-	14,695	11,305	82,788
	松本第1FP	9,467	68,544	-	9,609	9,609	78,011
	板場FP	31,926	364,780	-	71,267	51,254	416,719
	上ノ原FP	29,954	-	-	-	-	29,954
	上ノ原第2FP	2,238	37,063	-	7,428	6,108	40,621
	古川FP	13,776	157,637	-	31,862	21,404	181,871
	平山支線水路	2,691	1,150,306	-	285,762	107,446	1,331,313
	有徳原第1支線水路	1,824	1,659,628	-	438,792	149,574	1,950,670
	有徳原第2支線水路	1,758	188,845	-	49,929	17,214	223,318
	松本第1支線水路	87	146,419	-	41,575	14,163	173,918
	板場支線水路	105	296,495	-	68,663	23,381	341,882
	上ノ原支線水路	204	1,431,923	-	379,439	129,173	1,682,393
	上ノ原支線水路(塔ノ尾)	221	321,785	-	85,269	29,050	378,225
	古川第1支線水路	1,371	131,923	-	33,895	9,582	157,607
	古川第2支線水路	136	81,907	-	21,044	5,860	97,227
	日出生ダム施設	1,953,006	-	-	577,691	381,507	2,149,190
	山中部導水路トンネル等	791,591	-	-	1,356,065	74,587	2,073,069
	小計	2,917,441	6,992,999	-	3,774,299	1,159,547	12,525,192

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

1 (2) 総費用の総括－7

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による費用 ②	関連事業による費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④－⑤
国 営 造 成 施 設	山中部導水路開水路等	4,899	-	-	931,305	99,460	836,744
	山中部導水路暗渠等	20,105	-	-	94,601	16,377	98,329
	西椎屋頭首工施設	22,462	-	-	38,483	2,116	58,829
	水源施設工水管理施設	1,671	-	-	758,846	59,887	700,630
	松本2号幹線水路	7	-	-	12,916	1,372	11,551
	松本第2揚水施設	71	-	-	26,215	3,289	22,997
	松本第2揚水建屋	2,285	-	-	5,560	131	7,714
	松本第2加圧施設	31	-	-	54,412	6,812	47,631
	松本第2加圧建屋	3,912	-	-	9,594	223	13,283
	松本第2FP	7,331	-	-	35,469	6,114	36,686
	平山配水管路(既設利用)	9,568	-	-	529,327	57,379	481,516
	有徳原第1配水管路(既設利用)	6,381	-	-	452,663	48,843	410,201
	有徳原第2配水管路(既設利用)	6,149	-	-	287,909	31,327	262,731
	松本第1配水管路(既設利用)	1,735	-	-	246,922	26,425	222,232
	松本第2配水管路(既設利用)	1,337	-	-	122,668	13,187	110,818
	板場配水管路(既設利用)	3,181	-	-	523,569	55,969	470,781
	上ノ原配水管路(既設利用)	2,761	-	-	592,313	63,212	531,862
	上ノ原配水管路(塔ノ尾)(既設利用)	425	-	-	116,861	12,457	104,829
	古川第1配水管路(既設利用)	4,041	-	-	244,209	26,426	221,824
	古川第2配水管路(既設利用)	398	-	-	51,946	5,563	46,781
	小計	98,750	-	-	5,135,788	536,569	4,697,969
	国営造成施設 計	3,085,835	29,577,366	-	12,285,918	2,704,864	42,244,255

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

1 (2) 総費用の総括－8

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による費用 ②	関連事業による費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④－⑤
県営造成施設	有徳原第1配水管路	66,736	-	-	24,800	1,193	90,343
	有徳原第2配水管路	66,738	-	-	24,801	1,193	90,346
	松本第1配水管路	88,398	-	-	32,850	1,580	119,668
	松本第2配水管路	88,398	-	-	32,850	1,580	119,668
	板場配水管路	199,503	-	-	74,137	3,565	270,075
	上ノ原配水管路	754,189	-	-	280,263	13,478	1,020,974
	古川第1配水管路	45,604	-	-	16,947	815	61,736
	古川第2配水管路	45,607	-	-	16,948	815	61,740
	県営造成施設 計	1,355,173	-	-	503,596	24,219	1,834,550
その他造成施設	大黒原池	0	-	-	128,227	13,355	114,872
	塚木池	0	-	-	111,817	11,646	100,171
	大崩池	0	-	-	117,393	12,226	105,167
	平山大池	0	-	-	117,393	12,226	105,167
	山中池	0	-	-	119,652	12,462	107,190
	中山池	0	-	-	125,280	13,048	112,232
	有徳原池	0	-	-	122,326	12,740	109,586
	長浄寺池	0	-	-	110,473	11,506	98,967
	恒松池	0	-	-	122,326	12,740	109,586
	古城ノ池	0	-	-	114,279	11,902	102,377
	大平池	0	-	-	122,913	12,801	110,112
	松本大池	0	-	-	137,340	14,304	123,036
	小計	0	-	-	1,449,419	150,956	1,298,463

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

1 (2) 総費用の総括－9

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による費用 ②	関連事業による費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④－⑤
その他造成施設	白砂川池	0	-	-	125,280	13,048	112,232
	板場A池	0	-	-	122,326	12,740	109,586
	イヤリ池	0	-	-	124,175	12,933	111,242
	深迫池	0	-	-	102,712	10,697	92,015
	板場B池	0	-	-	122,326	12,740	109,586
	大池	0	-	-	122,326	12,740	109,586
	新畑池	0	-	-	125,280	13,048	112,232
	黒岩池	0	-	-	122,913	12,801	110,112
	仁想池	0	-	-	117,393	12,226	105,167
	木原池	0	-	-	109,146	11,367	97,779
	五十手池	0	-	-	115,668	12,047	103,621
	恵田神池	0	-	-	117,393	12,226	105,167
	長迫池	0	-	-	122,913	12,801	110,112
	水ヶ原池	0	-	-	118,820	12,375	106,445
	大黒原池水路	0	-	-	19,851	3,422	16,429
	塚木池水路	0	-	-	28	5	23
	大崩池水路	0	-	-	1,029	177	852
	平山大池水路	0	-	-	2,957	510	2,447
	山中池水路	0	-	-	175	30	145
	中山池水路	0	-	-	5,452	940	4,512
	有徳原池水路	0	-	-	1,549	267	1,282
	長浄寺池水路	0	-	-	1,171	202	969
	恒松池水路	0	-	-	752	130	622
	古城ノ池水路	0	-	-	2,081	359	1,722
	大平池水路	0	-	-	295	51	244
	松本大池水路	0	-	-	14,983	2,583	12,400
	白砂川池水路	0	-	-	553	95	458
	板場A池水路	0	-	-	2,685	463	2,222
	イヤリ池水路	0	-	-	1,029	177	852
	小計	0	-	-	1,723,261	183,200	1,540,061

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

1 (2) 総費用の総括－１０

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による費 用 ②	関連事業による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋ ④－⑤
そ の 他 造 成 施 設	深迫池水路	0	-	-	1,419	245	1,174
	板場B池水路	0	-	-	1,408	243	1,165
	大池水路	0	-	-	7,050	1,215	5,835
	新畑池水路	0	-	-	10,268	1,770	8,498
	黒岩池水路	0	-	-	7,198	1,241	5,957
	仁想池水路	0	-	-	164	28	136
	木原池水路	0	-	-	650	112	538
	五十手池水路	0	-	-	367	63	304
	恵田神池水路	0	-	-	1,469	253	1,216
	長迫池水路	0	-	-	6,044	1,042	5,002
	水ヶ原池水路	0	-	-	23	4	19
	小計	0	-	-	36,060	6,216	29,844
	その他営造成施設 計	0	-	-	3,208,740	340,372	2,868,368
	合計	4,441,008	29,577,366	-	15,998,254	3,069,455	46,947,173

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

駅館川地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表－3

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割引 率) ^t ①	経過 年 (t)	地籍確定効果					国産農産物安定供給効果					割 引 後 効 果 額 合 計 (千円)				
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計	更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計					
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④			年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④						
							同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①					同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①						
1	H27	0.6756	-10	—	1,631	—	—	—	65,342	64,248	—	—	65,342	96,717	1,299,539			
2	H28	0.7026	-9	—	1,631	—	—	—	65,342	64,248	—	—	65,342	93,000	1,254,325			
3	H29	0.7307	-8	—	1,631	—	—	—	65,342	64,248	5	3,328	68,670	93,978	1,303,477			
4	H30	0.7599	-7	—	1,631	—	—	—	65,342	64,248	12	7,640	72,982	96,042	1,355,937			
5	R1	0.7903	-6	—	1,631	—	—	—	65,342	64,248	14	9,092	74,434	94,185	1,344,770			
6	R2	0.8219	-5	—	1,631	—	—	—	65,342	64,248	19	12,313	77,655	94,483	1,368,991			
7	R3	0.8548	-4	—	1,631	—	—	—	65,342	64,248	24	15,214	80,556	94,240	1,384,658			
8	R4	0.8890	-3	—	1,631	15	246	246	277	65,342	64,248	30	18,956	84,298	94,823	1,420,522		
9	R5	0.9246	-2	—	1,631	15	246	246	266	65,342	64,248	37	23,965	89,307	96,590	1,465,022		
10	R6	0.9615	-1	—	1,631	28	463	463	482	65,342	64,248	50	32,078	97,420	101,321	1,571,439		
11	R7	1.0000	0	—	1,631	46	744	744	744	65,342	64,248	70	45,244	110,586	110,586	1,767,046		
12	R8	1.0400	1	—	1,631	58	941	941	905	65,342	64,248	79	50,985	116,327	111,853	1,795,626		
13	R9	1.0816	2	—	1,631	100	1,631	1,631	1,508	65,342	64,248	87	55,762	121,104	111,967	1,802,919		
14	R10	1.1249	3	—	1,631	100	1,631	1,631	1,450	65,342	64,248	92	59,421	124,763	110,910	1,788,220		
15	R11	1.1699	4	—	1,631	100	1,631	1,631	1,394	65,342	64,248	97	62,511	127,853	109,285	1,761,785		
16	R12	1.2167	5	—	1,631	100	1,631	1,631	1,341	65,342	64,248	100	64,248	129,590	106,510	1,716,489		
17	R13	1.2653	6	—	1,631	100	1,631	1,631	1,289	65,342	64,248	100	64,248	129,590	102,418	1,650,556		
18	R14	1.3159	7	—	1,631	100	1,631	1,631	1,239	65,342	64,248	100	64,248	129,590	98,480	1,587,088		
19	R15	1.3686	8	—	1,631	100	1,631	1,631	1,192	65,342	64,248	100	64,248	129,590	94,688	1,525,976		
20	R16	1.4233	9	—	1,631	100	1,631	1,631	1,146	65,342	64,248	100	64,248	129,590	91,049	1,467,329		
21	R17	1.4802	10	—	1,631	100	1,631	1,631	1,102	65,342	64,248	100	64,248	129,590	87,549	1,410,923		
22	R18	1.5395	11	—	1,631	100	1,631	1,631	1,059	65,342	64,248	100	64,248	129,590	84,176	1,356,575		
23	R19	1.6010	12	—	1,631	100	1,631	1,631	1,019	65,342	64,248	100	64,248	129,590	80,943	1,304,466		
24	R20	1.6651	13	—	1,631	100	1,631	1,631	980	65,342	64,248	100	64,248	129,590	77,827	1,254,249		
25	R21	1.7317	14	—	1,631	100	1,631	1,631	942	65,342	64,248	100	64,248	129,590	74,834	1,206,011		
26	R22	1.8009	15	—	1,631	100	1,631	1,631	906	65,342	64,248	100	64,248	129,590	71,958	1,159,669		
27	R23	1.8730	16	—	1,631	100	1,631	1,631	871	65,342	64,248	100	64,248	129,590	69,189	1,115,031		
28	R24	1.9479	17	—	1,631	100	1,631	1,631	837	65,342	64,248	100	64,248	129,590	66,528	1,072,153		
29	R25	2.0258	18	—	1,631	100	1,631	1,631	805	65,342	64,248	100	64,248	129,590	63,970	1,030,926		
30	R26	2.1068	19	—	1,631	100	1,631	1,631	774	65,342	64,248	100	64,248	129,590	61,511	991,291		
31	R27	2.1911	20	—	1,631	100	1,631	1,631	744	65,342	64,248	100	64,248	129,590	59,144	953,151		
32	R28	2.2788	21	—	1,631	100	1,631	1,631	716	65,342	64,248	100	64,248	129,590	56,868	916,469		
33	R29	2.3699	22	—	1,631	100	1,631	1,631	688	65,342	64,248	100	64,248	129,590	54,682	881,241		
34	R30	2.4647	23	—	1,631	100	1,631	1,631	662	65,342	64,248	100	64,248	129,590	52,578	847,345		
35	R31	2.5633	24	—	1,631	100	1,631	1,631	636	65,342	64,248	100	64,248	129,590	50,556	814,751		
36	R32	2.6658	25	—	1,631	100	1,631	1,631	612	65,342	64,248	100	64,248	129,590	48,612	783,423		
37	R33	2.7725	26	—	1,631	100	1,631	1,631	588	65,342	64,248	100	64,248	129,590	46,741	753,273		
38	R34	2.8834	27	—	1,631	100	1,631	1,631	566	65,342	64,248	100	64,248	129,590	44,943	724,302		
39	R35	2.9987	28	—	1,631	100	1,631	1,631	544	65,342	64,248	100	64,248	129,590	43,215	696,452		
40	R36	3.1187	29	—	1,631	100	1,631	1,631	523	65,342	64,248	100	64,248	129,590	41,553	669,654		
41	R37	3.2434	30	—	1,631	100	1,631	1,631	503	65,342	64,248	100	64,248	129,590	39,955	643,907		
42	R38	3.3731	31	—	1,631	100	1,631	1,631	484	65,342	64,248	100	64,248	129,590	38,419	619,150		
43	R39	3.5081	32	—	1,631	100	1,631	1,631	465	65,342	64,248	100	64,248	129,590	36,941	595,324		
44	R40	3.6484	33	—	1,631	100	1,631	1,631	447	65,342	64,248	100	64,248	129,590	35,520	572,430		
45	R41	3.7943	34	—	1,631	100	1,631	1,631	430	65,342	64,248	100	64,248	129,590	34,154	550,418		
46	R42	3.9461	35	—	1,631	100	1,631	1,631	413	65,342	64,248	100	64,248	129,590	32,840	529,244		
47	R43	4.1039	36	—	1,631	100	1,631	1,631	397	65,342	64,248	100	64,248	129,590	31,577	508,892		
48	R44	4.2681	37	—	1,631	100	1,631	1,631	382	65,342	64,248	100	64,248	129,590	30,363	489,316		
49	R45	4.4388	38	—	1,631	100	1,631	1,631	367	65,342	64,248	100	64,248	129,590	29,195	470,498		
50	R46	4.6164	39	—	1,631	100	1,631	1,631	353	65,342	64,248	100	64,248	129,590	28,072	452,397		
51	R47	4.8010	40	—	1,631	100	1,631	1,631	340	65,342	64,248	100	64,248	129,590	26,992	435,004		
52	R48	4.9931	41	—	1,631	100	1,631	1,631	327	65,342	64,248	100	64,248	129,590	25,954	418,267		
53	R49	5.1928	42	—	1,631	100	1,631	1,631	314	65,342	64,248	100	64,248	129,590	24,956	402,182		
54	R50	5.4005	43	—	1,631	100	1,631	1,631	302	65,342	64,248	100	64,248	129,590	23,996	386,715		
合計 (総便益額)								34,331						3,679,436	57,646,813			

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

駅館川地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－1

作物名		新設・更新	作付面積			効果要因	単収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
			現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
水稲	区画	新設	ha 31	ha 19	ha 2	乾田化	kg/10a 516	kg/10a	% 6	kg/10a 31	t 0.6	千円/ t 254	千円	%	千円
					13	乾田化	516		3	15	2.0	254		－	
						小 計	516	530	－	14	2.6	254	660	89	587
					△ 12	作 付 減	516	516	－	－	△ 61.9	254	△ 15,723	－	－
大豆	区画	新設	2	4	2	乾田化	89	89	23	20	0.4	94	38	88	33
					2	作 付 増	89	89	－	109	2.2	94	207	－	－
稲発酵粗 飼料用稲	区画	新設	3	－	－	乾田化	1,225	1,225	－	1,225	－	23	－	17	－
					△ 3	作 付 減	1,225	1,225	－	1,225	△ 36.8	23	△ 846	10	△ 85
大麦	区画	新設	4	13	4	乾田化	289	289	35	101	4.0	147	588	90	529
					9	作 付 増	289	289	－	390	35.1	147	5,160	9	464
区画整理_小計		新設	40	36									△9,916		1,528
		更新	－	－									－		－
水稲	用水	新設	196	182	△ 14	作 付 減	516	516	－	516	△ 72.2	254	△ 18,339	－	－
		更新	214	214	214	水管理改良	124	516	－	392	838.9	254	213,081	89	189,642
大豆	用水	新設	10	11	1	作 付 増	89	89	－	89	0.9	94	85	－	－
		更新	12	12	12	湿潤かんがい	82	89	－	7	0.8	94	75	88	66
					12	田畑輪換	77	89	－	12	1.4	94	132	88	116
稲発酵粗 飼料用稲	用水	新設	28	41	13	作付増	1,225	1,225	－	1,225	159.3	23	3,664	10	366
		更新	30	30	30	水管理改良	1,021	1,225	－	204	61.2	23	1,408	17	239
大麦	用水	新設	16	17	1	作 付 増	289	289	－	289	2.9	147	426	9	38
		更新	20	20	20	田畑輪換	251	289	－	38	7.6	147	1,117	90	1,005
イタリアン ライグラス	用水	新設	4	5	1	作 付 増	4,306	4,306	－	4,306	43.1	45	1,940	10	194
		更新	4	4	4	湿潤かんがい	3,588	4,306	－	718	28.7	45	1,292	17	220
農業用排水_小計		新設	254	256									△12,224		598
		更新	280	280									217,105		191,288
水田計		新設	294	292									△22,140		2,126
		更新	280	280									217,105		191,288

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果を基に整理した。

駅館川地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－2

作物名		新設・更新	作付面積			効果要因	単収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
			現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
きゅうり	区画	新設	ha －	ha 1	ha 1	作付増	kg/10a 2,223	kg/10a 2,223	% －	kg/10a 2,223	t 22.2	千円/ t 297	千円 6,593	% 56	千円 3,692
なす	区画	新設	4	－	－	乾畑化	1,712	1,712	10	1,883	－	380	－	91	－
					△ 4	作付減	1,712	1,712	－	1,712	△ 68.5	380	△ 26,030	17	△ 4,425
たまねぎ	区画	新設	5	－	－	乾畑化	4,549	4,549	10	5,004	－	83	－	91	－
					△ 5	作付減	4,549	4,549	－	4,549	△ 227.5	83	△ 18,883	16	△ 3,021
さといも	区画	新設	2	－	－	乾畑化	943	943	29	1,216	－	328	－	90	－
					△ 2	作付減	943	943	－	943	△ 18.9	328	△ 6,199	12	△ 744
ばれいしょ	区画	新設	－	5	5	作付増	2,500	2,500	－	2,500	125.0	173	21,625	37	8,001
にら	区画	新設	－	20	20	作付増	7,500	7,500	－	7,500	1,500.0	640	960,000	29	278,400
区画整理_小計		新設	11	26									937,106		281,903
		更新	－	－									－		－
きゅうり	用水	新設	32	32	－	作付増減	2,223	2,223	－	2,223	－	297	－	17	－
		更新	32	32	32	湿潤かんがい	1,933	2,223	－	290	92.8	297	27,562	91	25,081
なす	用水	更新	4	4	4	湿潤かんがい	1,489	1,712	－	223	8.9	380	3,382	91	3,078
		新設	17	17	－	作付増減	4,549	4,549	－	4,549	－	83	－	16	－
たまねぎ	用水	更新	22	22	22	湿潤かんがい	4,026	4,549	－	523	115.1	83	9,553	91	8,693
		新設	16	16	－	作付増減	943	943	－	943	－	328	－	12	－
さといも	用水	更新	18	18	18	湿潤かんがい	725	943	－	218	39.2	328	12,858	90	11,572
		新設	7	7	－	作付増減	1,692	1,692	－	1,692	－	346	－	16	－
白ねぎ	用水	更新	7	7	7	湿潤かんがい	1,497	1,692	－	195	13.7	346	4,740	91	4,313
		新設	72	72									－		－
農業用排水_小計		更新	83	83									58,095		52,737
		新設	83	98									937,106		281,903
普通畑計		更新	83	83									58,095		52,737

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果を基に整理した。

駅館川地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－3

作物名		新設・更新	作付面積			効果要因	単収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
			現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
ぶどう (一部被覆)	区画	新設	ha 22	ha －	ha － △ 22	乾畑化	kg/10a 1,165	kg/10a 1,165	% 10	kg/10a 210	t －	千円/ t 1,660	千円 －	% 91	千円 －
ぶどう (施設)	区画	新設	25	36	25 11	乾畑化	1,200	1,200	18	216	54.0	2,188	118,152	91	107,518
						作付増	1,200	1,200	－	1,416	155.8	2,188	340,890	22	74,996
醸造用ぶどう	区画	新設	－	19	－ 19	乾畑化	1,110	1,110	18	1,310	－	370	－	91	－
						作付増	1,110	1,110	－	1,310	248.9	370	92,093	22	20,260
茶	区画	新設	－	47	－ 43 4	土層改良	314	314	50	471	－	1,205	－	88	－
						作付増①	314	314	－	471	202.5				
						作付増②	314	314	－	314	12.6				
						小計	314	314	－	458	215.1	1,205	259,196	－	－
区画整理_小計		新設	47	102									384,873		109,173
		更新	－	－									－		－
ぶどう (一部被覆)	用水	新設	87	87	－	作付増減	1,165	1,165	－	1,165	－	1,660	－	22	－
		更新	109	109	109	湿潤かんがい	1,013	1,165	－	152	165.7	1,660	275,062	91	250,306
ぶどう (施設)	用水	新設	39	39	－	作付増減	1,128	1,128	－	1,128	－	1,660	－	22	－
		更新	64	64	64	湿潤かんがい	981	1,128	－	147	94.1	1,660	156,206	91	142,147
醸造用ぶどう	用水	新設	25	25	－	作付増減	1,110	1,110	－	1,110	－	370	－	22	－
		更新	25	25	25	湿潤かんがい	965	1,110	－	145	36.3	370	13,431	91	12,222
かぼす	用水	新設	57	57	－	作付増減	1,425	1,425	－	1,110	－	351	－	17	－
		更新	57	57	57	湿潤かんがい	1,239	1,425	－	186	106.0	351	37,206	91	33,857
茶	用水	新設	15	15	－	作付増減	314	314	－	314	－	1,205	－	15	－
		更新	15	15	15	湿潤かんがい	278	314	－	36	5.4	1,205	6,507	88	5,726
農業用排水_小計		新設	223	223									－		－
		更新	270	270									488,412		444,258
樹園地計		新設	270	325									384,873		109,173
		更新	270	270									488,412		444,258
新設			647	715									1,299,839		393,202
更新			633	633									763,612		688,283
合計													2,063,451		1,081,485

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果を基に整理した。

駅館川地区の事業の効用に関する詳細

2 (2) 品質向上効果

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新	新設	事業なかりせば	現況	事業ありせば	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	計
		①	②	③	④	⑤	⑥=④-③	⑦=⑤-④	⑧=①×⑥	⑨=②×⑦	⑩=⑧+⑨
さといも	湿潤かんがい	t 130.5	t -	千円/t 295	千円/t 328	千円/t 328	千円/t 33	千円/t -	千円 4,307	千円 -	千円 4,307
白ねぎ	湿潤かんがい	104.8	-	315	346	346	31	-	3,249	-	3,249
ぶどう(一部被覆)	湿潤かんがい	1,104.2	-	1,495	1,660	1,660	165	-	182,193	-	182,193
新設										-	-
更新									189,749		189,749
合計											189,749

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

駅館川地区の事業の効用に関する詳細

2（3） 営農経費節減効果－1

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤＝（①－②） ＋ （③－④）	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば （計画）営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば （現況）営農経費 ④			
水 稲 （区画整理・乾田（小区画）→乾田（大区画）・個人経営体（水稲果樹）→個人経営体（水稲果樹））	円 4,045,005	円 2,680,071	円 －	円 －	円 1,364,934	ha 0.21	千円 287
水 稲 （区画整理・湿田（小区画）→乾田（大区画）・個人経営体（水稲果樹）→個人経営体（水稲果樹））	4,122,120	2,680,071	－	－	1,442,049	0.59	851
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・緩傾斜）→乾畑（大区画）・個人経営体（水稲果樹）→個人経営体（水稲果樹））	8,120,473	6,484,576	－	－	1,635,897	1.38	2,258
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・急傾斜）→乾畑（大区画）・個人経営体（水稲果樹）→個人経営体（水稲果樹））	8,258,970	6,484,576	－	－	1,774,394	7.82	13,876
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・緩傾斜）→乾畑（大区画）・個人経営体（果樹）→個人経営体（果樹））	7,235,344	5,474,042	－	－	1,761,302	1.32	2,325
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・急傾斜）→乾畑（大区画）・個人経営体（果樹）→個人経営体（果樹））	7,365,486	5,474,042	－	－	1,891,444	7.48	14,148
水 稲 （区画整理・乾田（小区画）→乾田（大区画）・個人経営体（水稲野菜果樹）→個人経営体（水稲野菜果樹））	3,082,982	1,620,830	－	－	1,462,152	1.04	1,521
水 稲 （区画整理・湿田（小区画）→乾田（大区画）・個人経営体（水稲野菜果樹）→個人経営体（水稲野菜果樹））	3,141,504	1,620,830	－	－	1,520,674	2.96	4,501
茶 （区画整理・乾畑（小区画・緩傾斜）→乾畑（大区画）・法人経営体（茶）→法人経営体（茶））	7,405,189	4,182,528	－	－	3,222,661	7.04	22,688
茶 （区画整理・乾畑（小区画・急傾斜）→乾畑（大区画）・法人経営体（茶）→法人経営体（茶））	7,529,629	4,182,528	－	－	3,347,101	39.86	133,415
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・緩傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（果樹）→法人経営体（果樹））	13,774,072	5,506,970	－	－	8,267,102	0.57	4,712
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・急傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（果樹）→法人経営体（果樹））	16,601,583	5,506,970	－	－	11,094,613	3.23	35,836
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・緩傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（水稲果樹）→法人経営体（果樹））	20,841,020	5,506,970	－	－	15,334,050	0.96	14,721
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・急傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（水稲果樹）→法人経営体（果樹））	21,066,286	5,506,970	－	－	15,559,316	5.44	84,643
醸造用ぶどう （区画整理・乾畑（小区画・緩傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（果樹）→法人経営体（果樹））	10,258,857	2,802,869	－	－	7,455,988	1.10	8,202
醸造用ぶどう （区画整理・乾畑（小区画・急傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（果樹）→法人経営体（果樹））	12,993,589	2,802,869	－	－	10,190,720	6.20	63,182
醸造用ぶどう （区画整理・乾畑（小区画・緩傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（水稲果樹）→法人経営体（果樹））	11,852,475	2,795,969	－	－	9,056,506	1.86	16,845
醸造用ぶどう （区画整理・乾畑（小区画・急傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（水稲果樹）→法人経営体（果樹））	11,952,872	2,795,969	－	－	9,156,903	10.5	96,514

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

駅館川地区の事業の効用に関する詳細

2 (3) 営農経費節減効果－2

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤＝（①－②） ＋ （③－④）	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば （計画）営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば （現況）営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水 稲 （区画整理・乾田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻）→法人経営体（水稻大麦大豆））	1, 859, 093	1, 791, 780	—	—	67, 313	0. 6	40
水 稲 （区画整理・湿田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻）→法人経営体（水稻大麦大豆））	5, 288, 988	1, 791, 780	—	—	3, 497, 208	1. 7	5, 945
水 稲 （区画整理・乾田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻果樹）→法人経営体（水稻大麦大豆））	2, 361, 531	1, 791, 780	—	—	569, 751	1. 7	963
水 稲 （区画整理・湿田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻果樹）→法人経営体（水稻大麦大豆））	2, 383, 306	1, 791, 780	—	—	591, 526	4. 8	2, 845
大 豆 （区画整理・乾田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻）→法人経営体（水稻大麦大豆））	2, 738, 583	575, 133	—	—	2, 163, 450	0. 9	2, 034
大 豆 （区画整理・湿田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻）→法人経営体（水稻大麦大豆））	4, 612, 318	575, 133	—	—	4, 037, 185	2. 7	10, 739
大 麦 （区画整理・乾田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻）→法人経営体（水稻大麦大豆））	3, 749, 411	975, 899	—	—	2, 773, 512	3. 2	8, 931
大 麦 （区画整理・湿田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻）→法人経営体（水稻大麦大豆））	4, 032, 383	975, 899	—	—	3, 056, 484	9. 2	28, 059
水 稲 （区画整理・乾田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻果樹）→個人未集積（水稻果樹））	2, 361, 531	2, 074, 274	—	—	287, 257	1. 0	299
水 稲 （区画整理・湿田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻果樹）→個人未集積（水稻果樹））	2, 383, 306	2, 074, 274	—	—	309, 032	3. 0	915
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・緩傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（水稻果樹）→個人未集積（水稻果樹））	20, 841, 020	20, 636, 152	—	—	204, 868	0. 6	115
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・急傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（水稻果樹）→個人未集積（水稻果樹））	21, 066, 286	20, 636, 152	—	—	430, 134	3. 1	1, 351
水 稲 （区画整理・乾田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻）→個人未集積（水稻））	1, 405, 801	1, 251, 723	—	—	154, 078	0. 4	55
水 稲 （区画整理・湿田（小区画）→乾田（大区画）・個人未集積（水稻）→個人未集積（水稻））	1, 427, 576	1, 251, 723	—	—	175, 853	1. 0	183
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・緩傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（果樹）→個人未集積（果樹））	13, 774, 072	13, 756, 073	—	—	17, 999	0. 6	10
ぶどう（施設） （区画整理・乾畑（小区画・急傾斜）→乾畑（大区画）・個人未集積（果樹）→個人未集積（果樹））	16, 601, 583	13, 756, 073	—	—	2, 845, 510	3. 1	8, 935

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

駅館川地区の事業の効用に関する詳細

2（3） 営農経費節減効果－3

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり	効果発生 面積	年効果額
	新設		更新		経費		
	現況営農経費 ①	事業ありせば （計画）営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば （現況）営農経費 ④	⑤＝（①－②） ＋ （③－④）		
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稲 （農業用排水）	－	－	742,845	818,124	△ 75,279	214.0	△ 16,110
大豆 （農業用排水）	－	－	274,134	294,241	△ 20,107	12.0	△ 241
稲発酵粗飼料用稲 （農業用排水）	－	－	556,383	596,864	△ 40,481	30.0	△ 1,214
大麦 （農業用排水）	－	－	583,450	578,093	5,357	20.0	107
イタリアンライグラス （農業用排水）	－	－	460,791	505,353	△ 44,562	4.0	△ 178
きゅうり （農業用排水）	－	－	3,720,362	3,711,848	8,514	32.0	272
さといも （農業用排水）	－	－	848,938	836,451	12,487	18.0	225
たまねぎ （農業用排水）	－	－	1,863,703	1,891,495	△ 27,792	22.0	△ 611
白ねぎ （農業用排水）	－	－	5,265,018	5,475,713	△ 210,695	7.0	△ 1,475
ぶどう（一部被覆） （農業用排水）	－	－	7,631,692	7,631,401	291	109.0	32
ぶどう（施設） （農業用排水）	－	－	7,084,539	7,126,356	△ 41,817	64.0	△ 2,676
醸造用ぶどう （農業用排水）	－	－	3,295,971	3,305,630	△ 9,659	25.0	△ 241
かぼす （農業用排水）	－	－	2,259,813	2,238,912	20,901	57.0	1,191
茶 （農業用排水）	－	－	2,767,551	2,843,943	△ 76,392	15.0	△ 1,146
なす （農業用排水）	－	－	5,801,676	5,836,322	△ 34,646	4.0	△ 139
新設							591,944
更新							△ 22,204
合計							569,740

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

■効果要因は以下のとおり。

- ・水稲、大豆、大麦、ぶどう（施設）、醸造用ぶどう、茶（区画整理、新設：事業なかりせば→ありせば）
ほ場条件が改善されたことやほ場区画が小区画から大区画に拡大されたことで、機械の作業効率が高まり、経費が節減
- ・水稲、大豆、稲発酵粗飼料用稲、大麦、イタリアンライグラス、きゅうり、さといも、たまねぎ、白ねぎ、ぶどう（一部被覆）、ぶどう（施設）、醸造用ぶどう、かぼす、茶、なす（用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。
防除用水を自宅より運搬する経費が増加。